

◆ 令和3年度 鳴門市 部長実行宣言 ◆

(企業局)

企業局長	企業局次長
近藤 伸幸	三居 康伸

部長コメント(基本姿勢、基本目標など) … キャッチフレーズは「健全経営の確保と市民サービスの維持・向上」

企業局は、普及率99.9%の上水道を安定的に提供するための「水道事業」と公営競技として市財政にこれまで920億円を超える繰出しを行ってきた「ボートレース事業」を所管しています。今後も健全経営の確保を図るとともに市民サービスの維持・向上に努めてまいります。

本年度については特に以下の項目について各事業に取り組みます。

(水道事業)市民生活、都市活動に欠かすことのできないライフラインの持続的運営に向け、水道事業ビジョンに掲げる各種施策を推進するとともに、市民サービスを維持するための施設(浄水場及び送配水施設)の耐震化に取り組みます。

(ボートレース事業)「経営戦略アクションプラン2021」に則した収益確保による経営安定化のため、新型コロナウイルス感染症対策に適切に対応するとともに競技施設(整備棟)の耐震化を推進します。



重点項目(最優先)	現状と課題	目標(何を、どうする)	目標達成に向けた取組工程
共同化による浄水場更新事業の推進	<p>□現状</p> <p>整備後40年以上経過した浄水場を北島町と共同で更新するため、令和元年8月に策定した「鳴門市・北島町共同浄水場基本計画」に基づき、鳴門市・北島町共同浄水場整備事業について事業者と契約した。</p> <p>■課題</p> <p>北島町と連携しそれぞれの現施設を稼働しながら共同浄水場の建設を推進するとともに、完成後の維持管理体制等を検討する必要がある。</p>	<p>① 共同浄水場整備事業の事業者提案内容に基づき、設計・建設工事の着実な履行を図る。</p> <p>② 北島町と、共同浄水場の供用開始後における維持管理及び浄水場運営について検討する。</p>	<p>① 安全で安心な共同浄水場となるよう事業者と協働し、実施設計を行い、令和3年度中に建設工事に着手する。</p> <p>② 北島町と連携を深め、共同浄水場完成後の運営に必要な事項に関し現状把握に努め、方向性の検討を進める。</p>
新型コロナウイルス感染症への対応と健全経営の確保	<p>□現状</p> <p>モーターボート競走は、業界の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止予防ガイドラインを策定し、感染防止対策を行いながら開催、発売業務を行っている。</p> <p>売上げは、本場・外向発売場は入場制限等を行っており減少しているが、電話投票(インターネット投票)については増加しており、総じて堅調である。</p> <p>■課題</p> <p>本場(外向)、専用場外発売場、電話投票について、コロナの状況の変化によりそれぞれ異なる影響を受けており、感染状況に合わせ各々迅速な対応をしなければならない。</p> <p>また、選手、関係者等に感染者が発生した場合、レース開催が中止となることが懸念され、売上げに大きな影響が出る可能性がある。</p>	<p>① 新型コロナによる変化に適切に対応し、「ボートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021」に掲げた、R3年度決算の事業収益約39億円以上を確保する。</p> <p>② 場内等でクラスターが発生しないよう感染拡大防止のための対策を講じるとともに、万が一レース関係者に感染者が発生した場合のレース中止等に備える。</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症対策のための施設開放や健康維持対策など、ボートレース鳴門としてできる協力を行う。</p>	<p>① シェアが拡大している電話投票の売上確保を図るため、モーニングレース開催の日数拡大や全国発売のPGIレースを着実に開催するとともに、電話投票キャンペーンやウェブサイトのリニューアル等を推進する。</p> <p>また、ファンを本場等に呼び戻すため、キャッシュレス会員ランク制導入等のファンサービスの充実を図るとともに専用場外発売場の設置に向けた検討を進める。</p> <p>② 引き続き感染拡大防止対策を実施しながら、政府及び県の方針や業界ガイドラインに基づき入場制限等を行うとともに対応マニュアル等を適宜更新し、関係者への周知及び情報共有を図り感染者発生に備える。</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症対策のための事業等にウズホールやROKU等の施設開放を行うとともに健康維持のためのイベントや各種支援を行う。</p>

◆ 令和3年度 鳴門市 部長実行宣言 ◆

(企業局)

企業局長	企業局次長
近藤 伸幸	三居 康伸

重点項目(特に推進すべき)	現状と課題	目標(何を、どうする)	目標達成に向けた取組工程
水道事業ビジョンと水道施設の耐震化の推進	<p>□現状 水道事業を持続可能なものとするため、中長期の収支見通しを踏まえた経営戦略、今後の需要に応じた水道施設計画の見直しなど、経営環境の変化に応じた事業運営が求められている。</p> <p>■課題 経営健全化の各種取組を着実に進めるとともに、将来の水需要に対応した計画的な水道施設の老朽化対策と耐震化を進める必要がある。</p>	<p>① 「水道事業ビジョン」や経営戦略に掲げる施策を着実に進め、経営の健全化に努める。</p> <p>② 長期的な視点に立ち、事業継続のため近隣市町との広域化を検討する。</p> <p>③ 送配水施設耐震化計画(H30年3月策定)に基づき、水道管路等の更新・耐震化を図る。</p>	<p>① 水道事業ビジョン及び昨年度見直した令和7年度までの経営戦略に掲げる施策を着実に推進する。</p> <p>② 「旧吉野川流域市町の水道事業に関する勉強会」を通じて板野郡5町と情報交換を行うとともに、近隣市町と定期的に協議を行い、委託業務の共同発注の検討等、長期的な視点で広域化に取り組む。</p> <p>③ 国の補助制度を積極的に活用し、老朽化や漏水等により早急な更新を必要とする送水管などの基幹管路を中心に更新・耐震化を進める。</p>
競技施設(整備棟)耐震化推進事業	<p>□現状 整備棟はS45年に建築された建物で耐震性能が十分でないため、早期の耐震化が必要となっている。 令和2年度には、耐震化の検討を行うため基本調査を実施した。</p> <p>■課題 令和2年度の基本調査の結果に基づき、コストや安全性などに配慮するとともに、土地の有効利用などの将来を見据えた基本計画を策定する必要がある。 レースを休催しないため開催スケジュールを調整しながら安全かつスムーズな工事の工程計画を検討する必要がある。</p>	<p>① 今年度内を目途に様々な検討を行い基本計画・基本設計を策定する。</p> <p>② 関連する競走会事務所移転を含め周辺の建物の配置等が変わるため、競走会と交換する用地等の土地の有効活用を併せて検討する。</p>	<p>① 基本計画において工法の違いによるメリット・デメリット等を検討・比較し最善の耐震化方法等を決定する。</p> <p>② 基本設計において具体的な工事・設備・仮設等の設計を行い概算コストとスケジュールを検討する。</p> <p>③ 利便性の向上や土地の有効活用に向け、競走会などの関係機関と協議を進める。</p>